

4009 地球のかおり (日本の旅) : 日本縦断 (鹿児島～京都)

セブンティからのチャレンジ、
海外だけでなく日本も知りたい。最南端鹿児島から北上。可能なら京都まで夢挑戦。
駄目なら駄目で中断すればいい。海外ではない。何とかなるとの思い。
ママチャリ自転車目線やまだ見ぬ光景や天草へ単身移住した友人とも再会したい。
どんな旅になるか楽しみ。鹿児島～京都間。

今一度、心も身体も鍛え直しもしたい。大きくは期待していない。
思い通りには行かないだろうが夢挑み。チャレンジ！
中四国は、四国の太平洋側に進路をとるか、四国は自転車屋さんが少ない？ので
パンクが心配。山陰地方の日本海側を京都までのコースを選択するか。
旅立ち前に、先入観を持ちすぎると、旅が面白くなる。
まず、九州が問題。何事も始めなければ始まらない。臨機応変に判断すればいい。

6月だった。内裏^{うちうら}の仕事でストレスが蓄積。心身に悪い。
身体と時間と状況とサムマネー。アトリエ休業や身辺整理。時間を創った。
この心模様掲載される頃には、九州最南端に身を置いているかも知れないとも・・・
そんなことを、心模様に書いていた。次のようなことも。

自分でも思いもかけなかったが、今一度、旅に出かけられる状況が出来た。
有難い。しかし、人には話せない。貫徹できるか不安もある。
楽な旅ではなさそう。知恵と創意工夫が試される。
得るもの失うもの。出来る時に出来る事を実践。これまでの集大成の旅。
いろいろな出会いというか、試練にも直面するかも知れない。いや、するだろう。
それは自業自得の自己責任。しかし、面白い楽しい旅にしたい。
果たしてどうなるか。そんなことを書いていた。

若い時と状況が違う。今だから、一人旅は、一層、**味わい深い旅**になるかも知れない。

プラスばかり考えている訳ではない。マイナスもあるだろう。

ママチャリ自転車と歩き。見えるものが違ってくる。年齢目線や感性もある。

旅の途上での発見や気づき、出会いが面白く、楽しみ。

上りの坂道は、歩き。下りは、ママチャリ自転車、無理は禁物。気を引き締めて、慎重に。

そんな思いのスタートだった。自動車では、何度か訪ねている。

アンデルセン「旅は精神の若返りの泉だ」

デンマークの作家 アンデルセン「旅は、私にとって、精神の若返りの泉だ」と。

織田信長、本能寺での最期、人間 50 年、紅蓮の炎の中消えて行く。

これ映画のシーン。 50 歳の夢挑戦から、四半世紀の 25 年が経過。光陰矢の如し。

五木寛之著書「林住期」によれば、古代インドでは人生を四区分に考えたという。

「学生期」「家住期」、そして、「林住期」と「遊行期」

「林住期」とは、社会人として務めを終えたあと、すべての人が迎える、

もっとも輝かしい「第 3 の人生」のことである、と。

大切なのは過去でなく、未来に続く今。平等に与えられている**時間をどう使うか**。

大学教授である森毅様は、人生 80 年、20 年を 4 分割として書かれていた。

人生百年の時代も迫ってきている。空想の話ではないと。

人の一生、60 歳を還暦、中国唐代の詩人、杜甫の詩には 70 歳が古希。

昭和 20 年（1945 年）敗戦当時の日本人平均寿命は 49.8 歳、人生 50 年もみたくない。

昨今、男性でも平均寿命 80 歳を越える？ **心身の健康年齢が、問題**。

2019 年 5 月から、**令和元年**が始まった。

夢挑みのトレーニング。可能ならタイミングを見て、一人旅に出たい。

日常のトレーニングが大切。2019 年 9 月も、綾部や亀岡、篠山、10 月も橿原神宮、

明日香（飛鳥）路から奈良経由、京都大徳寺アトリエまで、ママチャリ。

夜道に日は暮れない。筋肉貯金とはいかないが、背伸びの日々。

付いて回る、現実や状況がある。延期や仕切り直しの繰り返し。
面白く、楽しいから、続けられる。何よりも自然からパワーをもらえるのが有難い。
独りよがり、自分自身を鼓舞。いつまでできるか、一抹の不安も・・・

人生も旅も、選択と決断の繰り返し。準備と覚悟が決まった。いざ・・・
旅のスタイルは、九州最南端からママチャリ自転車で、
京都まで戻れたら幸い。薩摩藩の参勤交代やNHK テレビの篤姫の行列も脳裏に。
このコースの真似はしない。ルートも自由気ままに東に西に南に北に。

話を元に戻して、デンマークの作家 アンデルセンが言うように、
旅は私にとっても精神の若返りの泉。
多分、四苦八苦するだろう。
無計画、目的地も行程も決めず、心のおもむくままに気の向くままにさすらう。
そんなひとり旅は、夢のまた夢だったが、そうなってしまった。

高齢化は世界共通。後ろ向きの話ではない。
デンマークと日本、どこが違うのか。北欧 55 日間の旅、
デンマークは 1 週間しか滞在しなかった。マルメヤオーデンセにも足をのぼした。
文化芸術だけでない。市場や食材、生活にも興味があったので訪ねた。

何しろ、いろいろあっていま一人。
料理？もやらざるを得ないものの、勉強すると面白い。
いま少し早く気づいていれば、また、人生変わっていたかも知れない。DIY 生活。
心身健康最優先が現時点の関心事。
快食快眠快便、身体を動かすことも最優先事項。

いかに生きるか。後ろ向きの話ではない。前向きな話。人生まだまだ、これから。
高齢は高齢なりの生き方を極めたい。若い人がこれから通る道。
現実を真正面から見つめる。四苦八苦の四苦は、老病死、避けられない。
その領域に突入。暑い暑いと言っても、夏の暑さは変わらない。
過剰な冷房は身体に悪い。楽と便利は敵と意識したい。いささか変人を徹底したい。
小学生 3 年生並にも動けないでは困る。その領域かも？
40～50 歳代でも老人、高齢者はいる。

個人差もある。環境や状況も違う。今、大丈夫だが、先の保証はない。
デンマークは、社会保障が行き届いた国、中年から高齢者の顔色はいかがなものか。
余裕のある顔か、考え方が、否定的ネガティブでなく積極的か、
そんなことも脳裏の片隅にあったので観察、デンマークの皆様、ポジティブ。
積極的と判断。日本人の私は、どうなのか。生き甲斐を創らないと悪循環になりがち。

人間の価値観や考え方や感性は、多種多様。

令和元年。人生の節目、いい機会なので、生き方、生き様、再検討しているところ。
世界を旅して、日本人のアイデンティティ、今一度、再確認したい。
他人様に、迷惑をかけずに、依頼心でなく自律、自立した生き方を、これからも模索。
旅という夢挑戦の後の厳しい現実を覚悟している。自業自得。努力したい。
これからは急がず、淡々と、蝸牛、登らば、登れ、一步一步。

いつ何が起こるか。人生は変化に富んでいる。いいことばかりは続かない。
いろいろあったから今日がある。ライバルは今一人の自分自身。過去、現在、未来。
九州の旅は「林住期」の締めくくり。同時に「遊行期」の始まりと心得ている。
人生 100 年時代、心身健康を維持するには？ 現実のものとしたい。

今回、旅の途上、画像記録どころではない状況も、たびたび体験。
九州の旅始め、車では何度も旅をしていて、記録画像・久楽コレクションを蓄積している。
内外の画像、いろいろ変化をつけて、発信できたらと思っている。

理屈っぽくなる自分は、好きになれない、が
これも致しかたなし。汗かく、恥かくも結構。アナログの昔人間。
今に全力投球するのみ。